

- 2) 琉球政府厚生局発行(1963年)、厚生白書
- 3) 琉球政府厚生局公衆衛生課、保健所10周年のあゆみ
- 4) 沖縄群島政府厚生部(1950年)、衛生統計
- 5) 西郷親盛、沖縄県下に於けるフィラリア病に関する研究、熊本医学令雑誌、第16巻第2号(昭和15年2月)
- 6) 八重山保健所篇、八重山群島のマラリア撲滅の成果
- 7) 其他琉球衛生研究所資料

沖縄本島から得た広東住血線虫 *Angiostrongylus* *cantonensis* について

国 吉 真 英 (琉球衛研)
西 村 謙 一 (九大寄生虫)

Angiostrongylus cantonensis は1935年、Chenにより始めて発見された野ねずみの寄生虫である。ところが1962年、Rosenらがハワイで好酸球性髄膜脳炎で死亡した一患者の脳から本線虫を発見して以来、本虫は太平洋地域に広く存在する好酸球性髄膜脳炎 eosinophilic meningoencephalitis の病源体と考えられ、医学上重要な寄生虫となった。本線虫は太平洋地域、オーストラリア、東南アジアに分布するが、その地理的分布は、現在の最も重要な研究課題の一つである。琉球列島からは、1964年、西村、川島、宮崎により、西表島のドブネズミから本線虫が発見され、新分布地として報告された。それに先立ち、第17回本学会に報告の際、宮崎は *Angiostrongylus cantonensis* に対して、広東住血線虫 (カントンジユウケツセンチュウ) の和名を提唱した。演者らは、1965年2月13日沖縄本島読谷村高志保の家屋内で捕かくしたクマネズミ♀、一頭の肺動脈から全長2.5mmの広東住血線虫の♀1匹を発見した。この発見は沖縄本島からの最初の発見であり、現在、分布の最北限である。

琉球列島における広東住血線虫 *Angiostrongylus* *cantonensis* の中間宿主について

西 村 謙 一 (九大寄生虫)
国 吉 真 栄 (琉球衛研)
吉 田 朝 啓 (那覇保健所)

広東住血線虫 *Angiostrongylus cantonensis* の中間宿主に関しては1955年、Mackernas &

sandars により、なめくじの一種、*Agriolimax laevis* が中間宿主となる事が発見されて以来、各地で数種の陸産貝類や、なめくじが中間宿主となる事が知られている。演者らは琉球列島の西表島、石垣島および宮古島から採集した一種のなめくじが中間宿主となる事が知られている、演者らは琉球列島の西表島、石垣島および宮古島から採集した一種のなめくじ、および沖縄本島から得た、アフリカマイマイ *Achatina fulica* から digestion method により多数の、形態学的に広東住血線虫の幼虫に一致する感染幼虫を得た。更に、これらの幼虫をマウスに経口投与して4日後にマウスの脳より、多数の幼虫を得た。ラツテが手に入らなかった為に成虫を得る事ができなかったが、大多数がマウスの脳に移行していた事から、広東住血線虫の感染幼虫と考えて、まず間違いないと考えられる。採集したなめくじは、ハワイで普通な中間宿主である。 *Veronicella alte* に極めて似ている。このなめくじは、国立科学博物館、波部忠重博士により、アシヒダナメクジ *Laeuicaulis alte* と同定された。ハワイ産との異同については目下、検討中である。アシヒダナメクジは沖縄本島には分布していないらしく、沖縄ではアフリカマイマイが中間宿主となり、宮古、八重山ではアフリカマイマイ、アシヒダナメクジが中間宿主になると推定される。

その他の陸産貝類やなめくじも当然、中間宿主になる可能性があり、それについては目下研究中被る。

寄生虫学雑誌 第14巻第7号 1965年12月
(第18回日本寄生虫学会南日本支部大会記事特集)

具志頭村の糸状虫症について

琉球衛生研究所

国吉真英(外6名)

沖縄寄生虫予防協会

仲地紀良・屋嘉勇(外3名)

沖縄医師会主催第4回具志頭村無医地区診療団の糸状虫症調査班は、具志頭村の糸状虫症の浸淫状況をを知る目的で、同村の仲座、与座、安里、波名城の4ヶ部落の住民を対象に、仔虫の検索を行った。

検血は、10月1日4ヶ部落民を安里公民館に集め、午後9時以後耳朶より30mmを定量採血し、溶血後ギムザ染色を施し鏡検した。

検査人員557名中45名、8.1%に仔虫陽性者を得た。性別感染率は、男子245名中26名、10.6%、女子312名中19名、6.1%で男子は女子に比し種々高い感染率を示している。部落別感染率は、波名城15.6%が一番高く、次いで仲座12.9%、与座8.9%、安里5.8%の順に感染率が低くなっている。